

福井市ボランティアセンター

ボランティア情報

No.198 (2013年12月1日発行)

【発行】

社会福祉法人 福井市社会福祉協議会
福井市ボランティアセンター

〒910-0019 福井市春山2-7-15
福井市民福祉会館1階(福井市社会福祉協議会内)
電話 (0776) 22-0022 ファックス 26-9109
ホームページ: <http://www.fukuic-shakyo.jp>
Eメール: mag@fukuic-shakyo.jp

この情報紙は共同募金の助成を受けています

福祉体験学習では「みんなにやさしいまち」について考えます！

福井市ボランティアセンターでは、それぞれの学校の特色や地域性を生かした福祉教育の推進を図るため、市内小・中・高等学校との連携と支援に取り組んでいます。

今月号では、小学校での福祉体験学習の様子を一部ご紹介します。



地区の社会福祉協議会、交通安全協会、PTA、地域の方々のご協力をいただき、学校周辺で車いす体験を行いました。歩道には歩いているときには気付かないような傾斜や段差があり、車いすでは真つすぐ進めません。



自動販売機では、欲しい飲み物のボタンに手が届きません。体験することで、「何かお手伝いしましょうか?」と声をかける勇気が湧きます。



体育館内での車いす体験では、段差の昇降、方向転換などの車いすの基本操作を学びます。



アイマスク体験では、アイマスクを付けた人とガイド役がペアになり、学校内を歩きます。もし、街で白い杖を持っている人が困っている様子だったら、「何かお手伝いしましょうか?」と声をかけることができるように、ガイドヘルプの基本的な動作を学びます。



車いすを使って生活されている方をゲスト講師にお招きして、仕事のことやスポーツ、普段の生活についてお話していただき、児童からのさまざまな質問に答えていただきました。



お帰りのときは、車いすから自動車の運転席に移乗して、ただんだ車いすを後部座席に積み込む様子や、手だけで運転操作ができる自動車内を見せていただきました。車いすのマークがついている駐車場は、運転席のドアを全開にして乗り降りするためスペースが広くとってあることを教わりました。



電動車いすを使って生活されている方の工夫された生活の様子をDVD映像で見ながら、自分たちにもできることは何か、心のバリアフリーとは何かを学びます。自分らしく暮らしたいという思いはみな同じです。「みんなにやさしいまち」になるよう助け合うことについて考えます。